

## ◆戸別収集・有料化全市実施説明会 Q&A

平成 25 年 10 月 1 日（火） 午後 6 時半から午後 8 時半

場所 玉縄学習センター

参加者 55 名

- 1 ごみ処理の課題と今後の対応
- 2 ご意見・ご質問への回答
- 3 戸別収集・有料化の映像説明
- 4 意見公募（パブリックコメント）について
- 5 質疑応答

※会場から多くの意見を述べさせてもらいたいという意見があり、ご意見のみ受け賜り、回答をしていないものもあります。

### Q 他市で戸別収集は行っているのですか。

A 有料化は全国の自治体の約 6 割が行っていますが、戸別収集については、県内では、大和市と藤沢市、全国では約 15 パーセントの市町村が戸別収集と有料化を併せて行っています。

### Q 防犯上の問題はありますか。空き巣被害が心配です。

A モデル地区でもアンケート調査を行いました。そのような問題が起きているとは聞いていません。先行実施している他市においても、そのような話は聞いておりません。市としては、そのような問題が起きるとは考えていません。

### Q 戸別収集にこだわらずに、クリーンステーション収集を継続するという方法はないのですか。

Q 有料化には賛成だが、戸別収集の 4 億 3 千万円の経費がもったいないと思います。資源物は今まで通りクリーンステーションなので、戸別収集を行う意味がわかりません。新しい焼却施設等の費用に回してもらいたいです。

A クリーンステーション収集のトラブルは、例えば今泉管内では、年間 350 件ほど問い合わせがあるのも事実です。自宅の目の前にクリーンステーションがある方には、様々なご負担をかけていることと思います。また、高齢化の中で、高齢者の方へのごみ出しの負担軽減等の観点からも、戸別収集と有料化を併せて行おうと考えています。

### Q ごみ問題は、地域の問題であり、全国的な問題でもあります。今、鎌倉市のごみの問題は、1、2 を争う政策です。ここできちんと対応しないと、後世に問題が残ります。有料化と戸別収集をセットで考えるのは問題だと思えます。谷戸が多い地形からも無理があると思えます。実際に回収している業者さんへの、アンケートは取っていますか。

A ごみを安定的に処理するために、きちんとした収集体制を取る中で焼却をきちんと行う、この 2 点が一番重要だと考えています。確かに谷戸が多いので、収集車両のコストはかかってきます。

また、市の収集については直営と委託があり、先行したモデル地区については 3 地区ございますが、うち 2 地区は委託業者になっています。委託業者については、常に収集状況等を把握しながら、収集を行ってもらっています。モデル地区では、当初は取り残し等もありましたが、戸別収集がスタートして 1 カ月程で、習熟度も増し、ほぼ取り残しもなく

なりました。

Q 戸別収集で車両が増えることにより、排出される二酸化炭素が増えてしまうのではないですか。一軒ずつ回るとなると、ガソリンの消費量が増え、エネルギー資源の問題にもなってきます。ごみ問題のみではなく、トータルで環境を考えることが大切だと思います。狭い道での渋滞等も考慮してもらいたいです。地域ごとに戸別収集をするか否か、決めていくという方法があると思います。

Q 要望が5つございます。

- ① ある地域のみ、戸別収集にした場合の、コスト計算をしてほしいです。
- ② クリーンステーションでの収集も選べるようにしてほしいです。
- ③ 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の観点からバザーを行っているのですが、その収益は寄付しています。バザーのごみは、無料にしてほしいです。
- ④ 10年後に作られる新焼却施設は、多くのごみを燃やして発電する施設だと思いますが、10年後には、ごみの分別や戸別収集・有料化はどうなるのでしょうか。
- ⑤ 有料化は、増税だという認識を持っていただきたい。税金の使い方の問題として、次の市長選の争点になると思っています。

Q ごみ問題は、一度施策を始めると、修正できない問題です。山王町内会では、アンケート調査を行いました。個々に意見を言うのではなく、ある程度まとまった意見を出すことが大切だと思います。戸別収集で、ごみ出しが楽になるとは思えません。バケツも買うことになります。自治組織できちんと集積所を管理すれば、不法投棄の問題は起きないと思います。財政健全化のためにも、コストのかかる戸別収集を行う理由がわかりません。町内会でのアンケート調査の結果を配るので、よろしければ取りに来てください。12月に条例改正をする前に、市民のコンセンサスをとってほしいです。

Q 山道が多い鎌倉において、7万世帯のごみを戸別収集するのは無理だと思います。また、新焼却施設の建設は、きちんと進めてほしいです。

Q DVDにはよい内容が多くて、データが少なく、何が素晴らしいのかよくわからなかった。戸別収集は、非効率的だと思います。具体的な内容をもっと知りたいです。市民に納得させるような説明をしてください。

Q 有料化には賛成です。戸別収集のコストが多いと思います。有料化は負担増になるけれども我慢しますが、戸別収集による余分な負担はかけないでほしいです。

Q 家庭系ごみはいま何トンあって、そのうちの3,500トンを、戸別収集・有料化でどのように減らすのですか。

A 家庭系のごみが2万4,000トンございまして、そのうち3,500トン、14パーセントを減らす予定です。積算根拠は、燃やすごみの中に混入している約25パーセントの資源物のうち、60パーセントはきちんと分別され資源化されるという予測です。先行実施している藤沢市では、燃やすごみの中に19パーセントの資源物が混入していましたが、10パーセント未満に減りました。その数値を鎌倉市にあてはめると、約3,500トンとなります。

Q ごみの発生量は人口の増減と係わっていると思いますが、今後の人口の増減をどう見込んでいますか。

A 平成23年に計画を策定した際には、27年までの人口は、微増傾向ということで計算しています。今後また改めて、28年度以降の計画を作ることになっています。その時に、今後の人口の推移も加味して、計画を策定していく次第です。今後の人口については、平成

26年度がピークで、その後は微減になると考えています。

Q ごみの問題は減量だけではありません。ご存じない方も多いと思いますが、直接的なごみ処理以外にもお金がかかります。関谷の埋め立て地ですが、最終処分場用地等営農損失補償金というものがあり、毎年3,000万円を17年間農家に払っています。現在、鎌倉市には最終処分場がないため、焼却ごみは、鹿島・名古屋等で熔融固化を行っています。それに2億かかっています。市民の方々に、そういう隠れた支出を知ってほしいです。大きな視点から、長期的ビジョンに立った施策を考えていかななくてはなりません。

Q もし目標が達成できなかった場合、どのような対応策を考えていますか。

A 基本的には自区外の処理となるので、他の市町村にお願いすることも考えられます。

Q 戸別収集・有料化が、財政上プラスなのかマイナスなのか、よくわかりません。いただいた資料の見方を教えてください。

A 資料2「戸別収集にかかるコストについて」にクリーンステーション収集と、戸別収集の経費が書いてあります。この差引きについては、次のページの「戸別収集の導入による増額経費」に記載があります。戸別収集を行うと、見直し後の欄に記載があるように、経費が4億3,900万円の増額になります。また、その下の「有料化に伴う歳入等」の中の、4億4,600万円とあるのが、市の収支の中での歳入になります。収支ということになりますと、ほぼ同額となります。

Q 財政的に、市の収支の中で700万円プラスになるならば、基金を設けていただいて、財政の見える化を図ってほしいです。

Q 19年前から有料化をしている市町村を知っています。ごみ袋には住所と世帯主の名前を書いています。クリーンステーションは必ず当番制で、資源物は自治会で見張りを立てています。不法投棄等なにか問題があれば、市に連絡をして話し合っ解決しているそうです。以上です。

Q 生ごみは小さい袋に入れておいて、ごみを出すときは大きな袋にまとめていいのですか。ビニール袋が多くなってしまいうので問題となるのか、そういうことはありませんか。

A 小分けにしたごみを、まとめて大きな有料袋に入れていただいてもかまいません。

Q 鎌倉市の処理施設の人口に対する処理能力は、全国の中で、どのレベルなのですか。

A そのようなデータは現在持ち合わせておりませんが、参考として、今泉クリーンセンターは75トン炉が1炉、名越クリーンセンターは75トン炉が2炉となっています。概ね年間280日稼働の中では、両方の施設で4万トン程度は焼却が可能です。

Q 焼却能力の全国の中での位置づけを聞いているのは、鎌倉市民が分別をがんばっているのか否かが知りたいからです。

A 鎌倉市の1人あたりの家庭系ごみの燃やすごみの量は、神奈川県内の32市の中で18位です。1人あたりの燃やすごみの排出量は、県の平均では720グラムですが、鎌倉市は763グラムになります。県の平均よりも、鎌倉市民はごみを排出しているということになります。

Q 今泉クリーンセンターを再開することはできないのですか。プラントは、災害時を想定しても、2基あった方がよいでしょう。名越クリーンセンターのみになると、運搬距離が長くなり、渋滞にならないか心配です。小さいプラントを山崎に作ったらいいと思います。今泉地域の人が、処理施設に反対するのは、エゴではないでしょうか。

## 《市長コメント》

本日は冒頭から出席をする予定でしたが、議会の関係で大変遅れてしまい、申し訳ございませんでした。

今までこういう説明会を20回、他に各自治会町内会等でも説明会を行っておりまして、様々なご意見をいただいております。

本日もご説明させていただいたと思いますけれども、これらの施策は、議会の議決を経ないと確定ということではございません。そういう意味では、皆様のご理解をいただければ、先に進めない施策です。こうしてたくさんのご意見をいただく中で、きちんと皆様にご理解をいただけるように、一つ一つしっかりと検討して進めてまいりたいと思います。

本日は、色々と貴重なご意見をいただいたと思います。きちんとそれを私も確認をさせていただきながら、鎌倉市のごみ処理行政が前に進んでいけるように取り組んでまいりたいと思いますので、今後ともよろしくお願いたします。

